

あぷろうち

～ approach ～

日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
（群馬県勤労福祉センター2F）
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2016年7月号
No.249

発行人 高草木 悟
編集人 飯田 博久

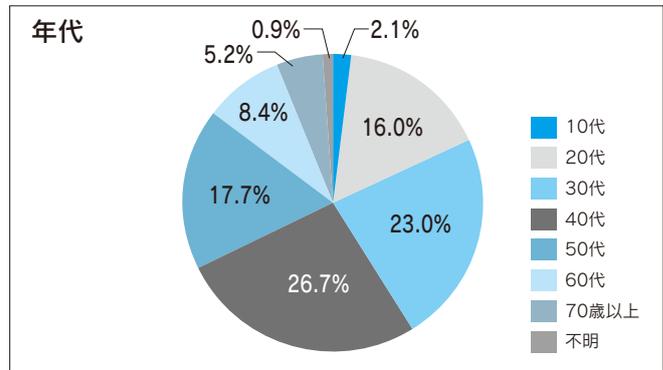
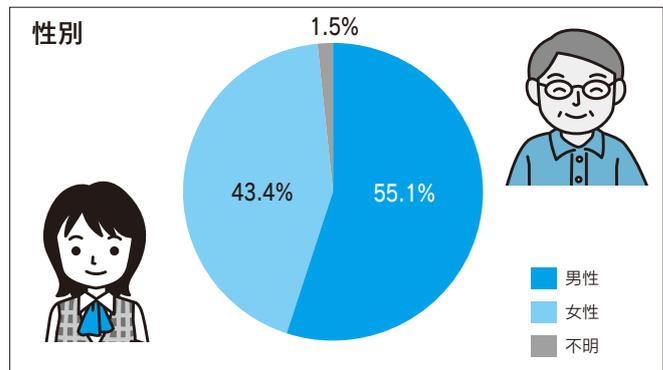
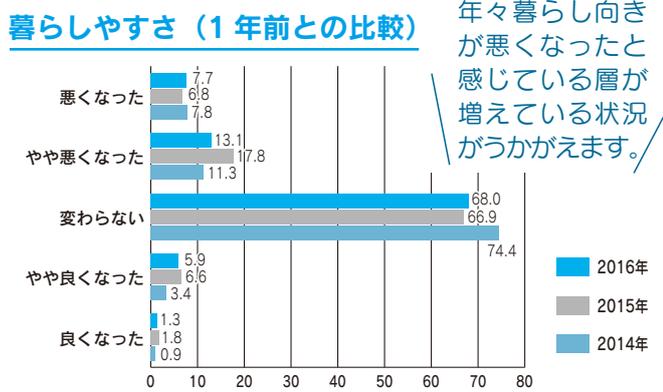
2016「県民意識調査」結果まとまる 政策・制度立案に向け集約

2017年度「政策・制度要求と提言」立案の礎となる県民意識調査は、産別・地協をはじめ県民のご協力をいただき、11,577名の方々からの回答をまとめることが出来ました。

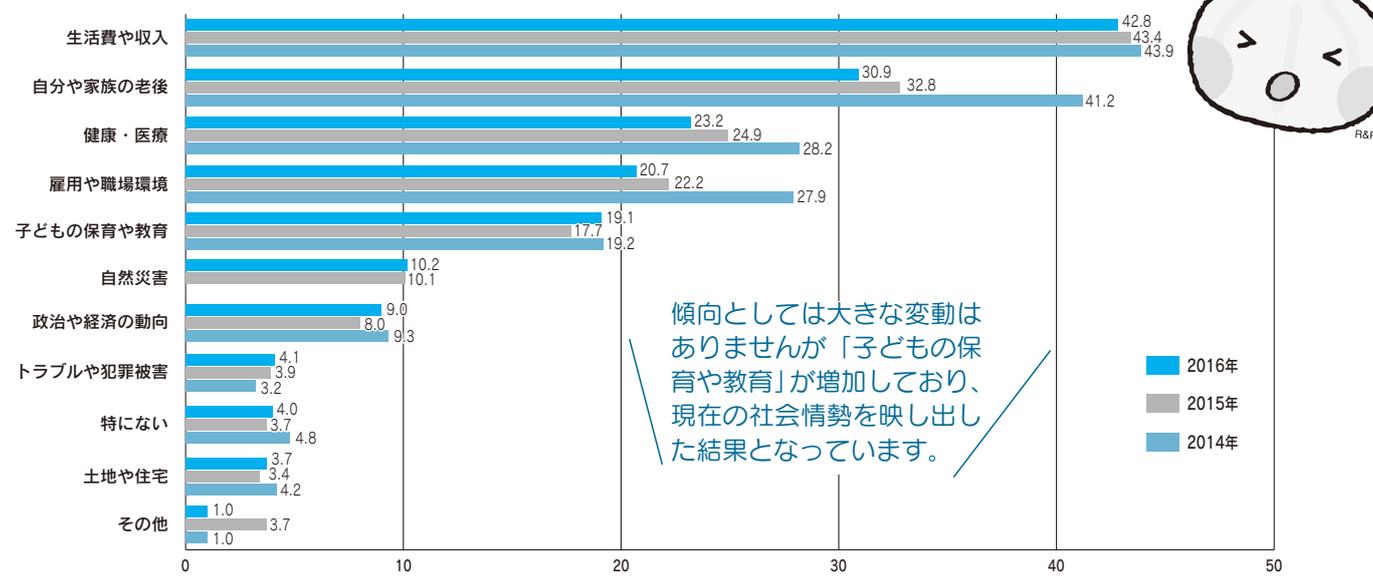
現在、8月に実施を予定している政策提言の裏付けとして活用するため、調査結果の分析を行っています。

県民の心配事・困り事では、『生活費や収入』がトップとなっていますが、『自分や家族の老後』『健康・医療』と続き、本年度の提言のポイントとしては、健康寿命と平均寿命を近づけるための、健康増進や世代に関係なく活躍できる場の創出など、的を絞り要求内容を組み立て、取り組みをはかっていきます。

経年変化を見てみよう！

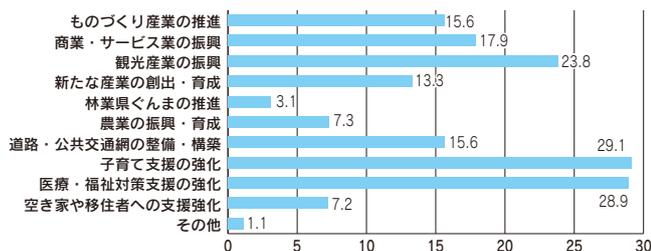


心配事・困り事



県民意識調査の結果。 年代別や職業別の集計はHPをCHECK!!

群馬県の活性化に向け力を入れるべきこと【2つまで】



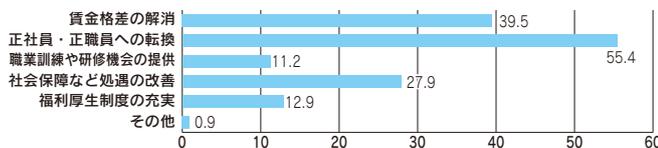
1位『子育て支援』、2位『医療・福祉対策』がそれぞれ3割弱となっており、性別では女性は『医療・福祉対策』が1位、男性は『子育て支援』が1位、子育てや育児の意識の変化が見られます。

県内の中小企業への有効な支援策は【2つまで】



ものづくり県と言われる『県内企業のPR及び販路拡大支援』が1位で38.6%となり、一部の地域では平均より、5ポイント高い43.5%となっています。

非正規労働者に対する有効な支援策は【2つまで】



全ての年代・地域・性別において『正社員・正職員への転換』が1位となりました。

人口減少対策で重点的に取り組むこと【2つまで】



『子どもの保育や教育の充実』が1位で52.0%と半数を占めており、『自営業』の方は『雇用確保や企業誘致』が1位となりました。

2017年度政策・制度要求と提言に向け意見交換

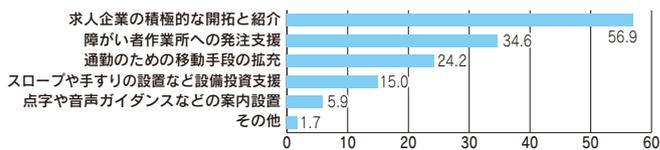
政策制度立案に向け、6月13日、議員懇談会、6月17日、群馬高退連と意見交換を行いました。

議員懇では、「県内における市町村の格差も拡大しており、各地協の統一要求も限界ではないか。議員懇と地協が連携を密にし、要求の組み立てを行いたい」との要望がありました。

連合群馬が作成する「2017年度 政策・制度要求と提言」を踏まえ、各地協での取り組みにつなげていきます。

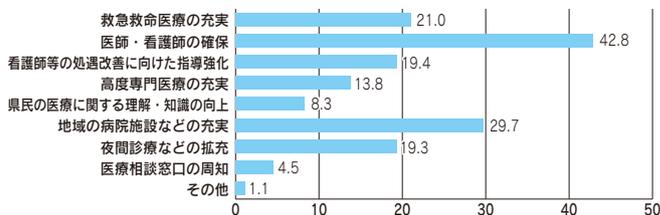
議員懇・地協への皆様からのご意見・要望をお願いいたします。

障がい者雇用の促進に向け、有効な対策は【2つまで】



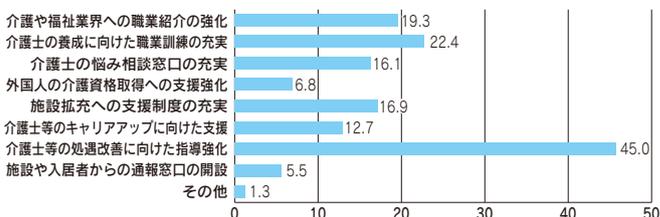
『求人企業の積極的な開拓と紹介』が1位となり、全地域・職業において半数を超え、高い意識がうかがえます。

医療に関して行政が優先すべき施策は【2つまで】



『医師・看護師の確保』が1位となり全体の4割を占める中、「安中市」では『地域の病院施設などの充実』が1位となりました。

福祉サービスの充実に向けた行政支援策は【2つまで】



『介護士等の処遇改善に向けた指導強化』が45.0%で1位となり、処遇改善の必要性に向けた意識の高さがうかがえます。

社会に出て役立つ教育で学校で重視すること【2つまで】



『働くこと（就労感）』に関する要望が約半数と意識の高さがうかがえます。また回答以外のニーズの多様化が考えられます。

自立した社会人を育てるため義務教育で必要な対応は【2つまで】



全年代で『教職員が子どもと向き合う時間の確保』が1位と高い関心が寄せられています。

各種選挙での投票率を高めるため必要な対策は【2つまで】



『電子投票』が1位となり全体の4割を占めて、年代別では「10代」で56.5%と年代が若い方ほど高い数値となっています。

恒久平和を願い沖繩へ

平和祈念公園群馬之塔へ折鶴献納



連合平和沖繩派遣団は、6月23日から組織の枠を超え、連合埼玉と協同で実施

しました。群馬から9名、連合埼玉の11名の一行は、初日、連合平和オキナワ集会へ参加し、次代へ向けた青年委員からの報告や目には見えない沖繩の肝心（＝ちむぐくる）を伝える嶋原さんからの語り部学習、翌日は糸数アブチラガマや平和祈念公園・資料館など沖繩戦の惨禍に触れることで、失われた命を悼む思いや、平和を祈る切実な心を体感しました。

齋藤 孝昭さん

連合群馬北部地協/JR東労組

沖繩には単組の研修として数多く訪れていますが、連合として参加したのは初めてです。初日の平和式典



には1,000名の参加があり、連合組織の大きさを感じるとともに、講演をしていただいた嶋原さんの「おばー」の感情を入れた様子は心を打たれました。さらに、「未来は変えることができる」というメッセージは、私たちがこの行動を終えたあとに職場や家庭などでどのように伝えていくかが大事になってくると実感しました。2日目の戦跡めぐりは、当時の状況を追体験することが出来ました。また、資料館の展示物は胸に刺さるものがあり、戦争の悲惨さを感じることができました。

小川 剛さん 連合群馬議員懇談会 安中市議会議員

平和行動約1ヵ月前の5月19日、罪もない20歳の女性を殺害した容疑で元米海兵隊員が逮捕されました。

沖繩平和行動は2回目、前回の参加から6年経過しますが、沖繩県民の負担は多く残り改善されない状況に改めて憤りを覚えます。

71年前の沖繩地上戦で約20万人の方が亡くなり多くの民間人が犠牲になりました。71年経った今でも、沖繩には国内の米軍専用施設の74%が集中している現状や米兵有利の日米地位協定があり改善を急がねばならず、沖繩県民は平和で安心して安全に暮らせる島にするため戦っています。我々も県民の痛みの声に耳を傾け、71年前に起きた戦争の悲惨な状況、沖繩県民の置かれている現状を多くの方に伝えていきたいと思えます。



女活法促進など労働局へ申し入れ!

連合「男女平等月間」の取り組みの一環として、6月19日に女性活躍推進法促進やあらゆるハラスメントの積極的な対応など女性活躍に向け、男女平等参画推進委員長の佐藤副会長より厚生労働省・群馬労働局雇用環境・均等室の宮村室長に申し入れを行いました。

宮村室長より「県内では300人以上企業においても8社が実行計画を策定している。他社への波及に努めたい。所管業務も広がり、企画室と均等室が統合され、それぞれの強みを活かし、取り組みの強化を行いたい。」と挨拶がありました。

労働局・連合群馬が一体となって男女ともに働きやすい職場環境を実現するため認識を共有するとともに、意見交換を行いました。



組織拡大を目指し共に推進を!

組織拡大強化月間の取り組みのひとつとして、組織アドバイザーが各地協を訪問し、組織拡大への積極的な参画と情報提供を呼びかけました。アドバイザーからは連合群馬では2020年までに組合員12.5万人を目標に取り



組みを進めているものの、実情は組合員数を維持するのがやっとの状態。また労働相談をきっかけとする組織化に取り組んでいるが、組合作りに繋がるような相談は少ないのが現状です。

それぞれの組織が仲間を増やす取り組みを推進して頂くとともに、情報提供をして欲しいと訴えました。すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現に向けては、仲間を増やし運動を前進させることが必要です。一人ひとりが組織拡大への意識を高め、取り組みを推進させましょう。

第24回参議院議員選挙 ご支援ありがとうございました。

7月10日投開票で施行された参議院選挙は、群馬県選挙区 堀越 けいじん氏を支持候補として取り組みを行いました。残念ながら当選を果たすことができませんでした。

また、比例選挙区では、連合推薦候補者12名のうち8名が当選を果たすことが出来ました。

この間の構成組織・地協のご支援とご協力に感謝申し上げます。

衆議院議員選挙 連合群馬推薦候補予定者

6月14日第8回執行委員会で、3名の推薦が決定されました。

第1区 宮崎 岳志

第3区 長谷川 嘉一



第4区 不破 弘樹



ユニオンガール'S TALK

No.4

ふかさわ えいこ
深澤 栄子さん

連合群馬女性委員会 副委員長
スズラン労働組合 本部評議員



話はそれましたが、組合としては単組活動に留まらず、U.A.ゼンセン県支部のネットワークを活かした研修会が目白押しなので、組合員への声掛けはもちろん、私も積極的に参加しています。先日山形新幹線でカリスマ車内販売員と言われた茂木久美子さんの講演や料理教室、フラワーアレンジメントなど女性視点に立った役立つ企画が嬉しいです。

一職場では係長と聞きました

女性の係長は4名います。私は2年位前に係長の職に就きました。いまでは男性係長には言いづらいからと、担当は違えども相談してくれる従業員もいます。組合役員をしているというのもあるかもしれませんね。係長としても職場のフォローはありますが、上司はもちろん主任と協力しているので仕事も負担なくやっています。

一女性委員会の活動はどうか？

以前、関東ブロック会議に参加して、具体的な内容はちょっと言えませんが、職場では当たり前だと思ったことを話したら、異業種の方の職場では、それは当たり前ではない。改善が必要だということが分かり、叱咤激励も受けて衝撃でした。

そうそう、実は女性委員会の幹事としての選出を、総会の席で机上の資料を見て初めて知りました。同期の「セミナーに参加して」との一言だったと思っていたのに、なぜか役が付いていて…(苦笑)。でも感謝しています。なんとと言ってもたくさんの方とつながりを実感できますから…。

幹事になりたてのころは、委員会に出席しても端でお弁当を静かに食べていましたが、先輩方にガンガン声をかけてもらって楽しい雰囲気を作ってもらいました。開催案内が来て、委員会に出席しただけだとやっぱり、言いたいことも言えないですね。私が経験させていただいたように、特に新しい委員の方が早く慣れて参画しやすいように、時には「時間外交流」を入れつつコミュニケーションを大切にしていきたいです。

甥っ子くんと毎年楽しみにしている
ディズニーランド



Listener 吉田 香苗

たくさんの方とのつながりを実感できます

はじめまして、ユニオンガール'S TALKへようこそ

一普段のお仕事を教えてください

いつもスズランをご愛顧いただきありがとうございます。地域の皆様に親しまれ当社も創業65年、労働組合は設立35年という節目にあたります。現在は400名以上の組合員が前橋店と高崎店、本社、物流に配属されています。私は、今年4月より前橋店7階のリビングフロアで、主に生活雑貨の販売をしています。実は就職して20数年の間、異動がなかったのですが、「サプライズ人事」にびっくり(笑)。でも新たな場所でチャレンジだと思っています。ちょっと悩みもありまして、配置されているフロアは上司や社員も多くて実はシフトが組みづらく、今は女性委員会の活動になかなか参加できていないんです。

一組合活動はどうか？

18年位前でしょうか、「2年任期の順番制」と言われて支部評議員に、その後、本部評議員として10年位になります。聞きなれないかもしれませんが、執行委員にあたりますかね。主に会社との交渉役となる常任委員がいますが、組合での決定事項や周知することなどを支部評議員への伝達役となっています。

組合として大きな行事は、定休日を利用し8月にはディズニーバスツアーを企画し毎年多くの方に参加をいただいています。今年ももちろん参加しますが、ここ数年は、自営業で忙しく働く弟夫婦の小学校1年生の甥っ子と2人で参加しています。甥っ子くんはいわゆる絶叫系は苦手、でも少しずつ興味や楽しみ方も変わってきて『えいこ姉』としては成長をととても楽しみにしています。

これらの課題は、もちろん労使関係で解決できるものではなく、国の制度・政策に関わる事項。2012年に自公政権が復帰して以来、格差拡大の流れは一向に収まりません。

「雇用も所得も賃上げも」の自民党TV広告に歯ざしりをしながら、取り組みの重要性を痛感していました。格差社会の広がりは一層厳しくなるのは明確定でありませぬ。働く者・未来のために私たちは引き続き活動を進めます。

(伊能)

「働くことを軸とする安心社会の実現」って、皆さんも一度くらい見たり、聞いたことあると思います。これ、連合が2020年までに「目指すべき社会の姿」として目指している政策なんです。

ちょっと振り返りますと、あのバブル経済の崩壊を経て、企業は「株主利益優先」の経営姿勢を強め、短期的利益を確保するため人件費抑制策を推し進めました。正規雇用から非正規雇用への置き換えが進み、平均給与所得も(1997年をピークに)減少を続ける中で、それまで安定した雇用の下で社会を支えてきた多くの中間層が一極化し、いわゆる「格差社会」への変貌が始まりました。

以降、進行する格差社会にあって連合は、2010年この「働くことを軸とする安心社会の実現」にむけた政策を確立し、今日まで活動を進めてきています。その当時は、2009年の民主党(当時)政権の誕生という背景もありました。



「安心して働きたい・暮らしたい国」
「働く者の未来のために」